



2011 3月号
[No.618]

～人が輝き 海輝る きらめきつづけるまち岩美～



21

知れば知るほど私達は思う

“岩美に生まれてきて本当によかった・・・と”

山陰海岸ジオパーク ジオパンフレット作成

岩美西小学校 6年生



主な内容

- 2 3月12日(土)から町営バスの運行(路線・時刻表)が変わります
- 4 第21回鳥取県岩美町・沖縄県国頭村児童交流
- 5 山陰海岸ジオパークのグルメ発表会開催!!
- 20 いわみの太陽さん^{SUN} (居組 明彦先生(岩美中学校))

3月12日(土)から (路線・時刻表) 町営バスの運行が変わります

現在、町営バスは、小田線・田後線・陸上線の3路線を運行していますが、近年、利用者の減少が続いています。特に、陸上線においては1便当たり平均して1人の利用しかなく、起点から終点まで利用者の全くない便が6割もあります。

しかしながら、通学や通院などで利用されている方のために路線を維持していく必要があり、「廃止」ではなく、より効率的な運行へ見直すため、陸上線と田後線を統合することとしました。

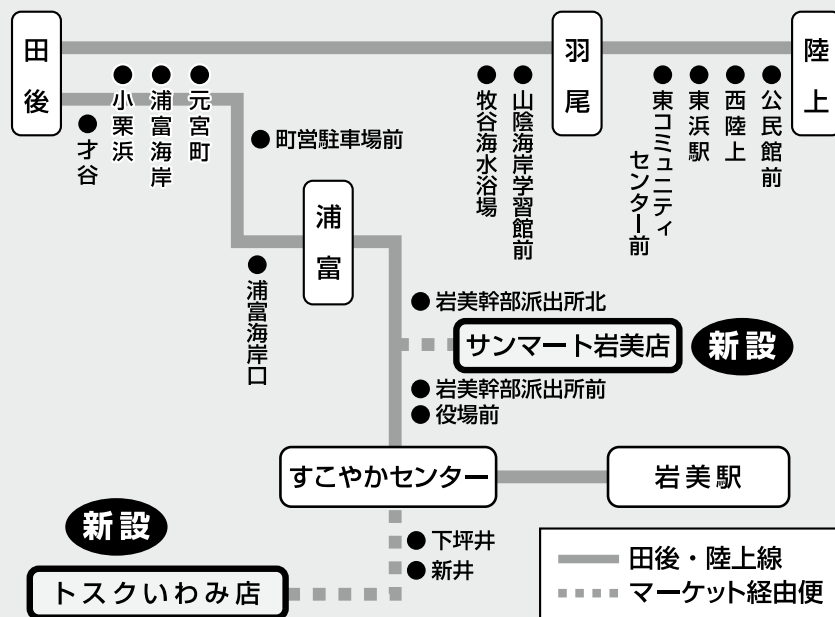
また、町営バスを利用して買い物をされる方の利便性を高めてほしいとの声を多くいただきましたので、町内のマーケット2店舗の店先にバス停を設置することとしました。



田後線と陸上線を統合し、「田後・陸上線」に！

運賃については、従来の区間運賃と変わりません。

(例) ●陸上ー岩美駅 300円 ●羽尾ー岩美駅 220円



田後線と陸上線を統合し、新たに「田後・陸上線」として運行します。
田後・陸上線は、陸上を出発して田後を経由し、岩美駅に向かいます。岩美駅発の場合は、その逆となり、岩美駅→田後→陸上という順で運行します。
ただし、通院・通学で利用の多い朝の便については、従来どおり、「陸上ー岩美駅」の直行便として残します。

お世話になります

各地区で自治会長さん、区長(町内会長)さんの異動がありました。

(敬称は略させていただきます)

地区	部 落	役 職	区・町内会長等名
東 地 区	大 羽 尾	自治会長	濱 口 丈 夫
浦富地区		自治会長	吉 村 計 宏
	牧 谷	自治会長	中 島 護
	川 揚 組	町内会長	川 上 繁 道
	稻 荷 組	"	藪 田 浩 明
	中 組	"	森 川 義 幸
	砂 浜	"	依 藤 和 恵
	第1区	区 長	富 村 恒 夫
	第2区	"	堀 江 英 夫
	第3区	"	平 井 強
	第4区	"	山 下 博
	第5区	"	小 林 里 枝
	第6区	"	林 英 夫
	第7区	"	池 内 克 之
	第8区	"	平 井 亮 至
	第9区	"	太 田 章
	第10区	"	武 田 静 男
	第11区	"	山 下 信 也
	町 浦 富	自治会長	山 本 准 二
	西 境 町	町内会長	松 本 日出男
	上 横 町	"	吉 田 健 治
	立 町	"	高 橋 知 喜
	中 新 町	"	高 橋 智
	上 町	"	橋 本 伸 一
	中 町	"	加 武 田 秀 雄
	下 町	"	河 口 浩 幸
	大清水町	"	河 本 克 幸
	浜 浦 富	自治会長	岡 村 則 男
本庄地区	本 庄	区 長	城 戸 勇
	太 田	"	西 村 欣 憲
	河 崎	"	福 田 康 敬
	新 井	"	辻 義 隆
	日ノ出町	"	河 崎 忍
	高 山	"	西 川 広 雪
	広 岡	"	廣 田 泰 治
	恩 志	"	山 本 千 秋
	二 恩 志	"	村 島 秀 美
	坂 上	"	山 本 忠 男
小田地区		自治会長	飯 野 隆
	岩 常	区 長	西 浦 晶 義
	高 住	"	奥 田 泰 司
	長 郷	"	田 中 康 雅
	院 内	"	河 口 尚 史
	荒 金	"	北 村 純 一
	黒 谷	"	飯 野 幸 義
	池 谷	"	井 口 卓 郎
	延 興 寺	"	吉 村 光 文
	外 邑	"	西 村 勝 志
	小 田	"	上 嶋 広 昭
岩井地区	宇 治	区 長	中 原 優
	長 谷	"	篠 原 孝 雄
	白 地	"	岡 崎 司
蒲生地区	相 山	区 長	小 林 正 紀
	馬 場	"	林 尾 正 浩
	法 正 寺	"	山 根 勝 則
	蒲 生	"	川 口 和 彦
	山ノ神	"	森 田 卓 介
	塩 谷	"	細 川 禎 彦
	神 堀	"	寺 垣 伸 一 郎
	銀 山	"	福 田 巧
	洗 井	"	平 井 臣 夫
	横 尾	"	井 本 大 孝

自治会長・町内会長・区長さんには、地域のまとめ役として、また、役場と住民の皆さんをつなぐ役としてお世話をいただいています。今後とも格別のご協力をお願いします。

また、前任の皆さんには大変お世話になりました。紙面を借りてお礼申し上げます。

「マーケット経由便」で 買い物が便利になります

町営バスを利用して買い物に出かける方が店先で町営バスに乗降できるよう、「サンマート岩美店」と「トスクいわみ店」の店先にバス停を設けます。マーケット経由便は、田後・陸上線、小田線ともに午前11時頃に店舗に到着するよう設定します。帰りは、午前12時頃と午後1時頃(平日のみ)にマーケットを経由します。

田後・陸上線も小田線も、サンマート岩美店とトスクいわみ店の両店舗を経由する経路とします。

なお、それぞれの路線において新たに停車するバス停の運賃区間は、前後のバス停の運賃区間に入ります。

例) ●小田ーサンマート岩美店 450円

●羽尾ートスクいわみ店 220円

小 田 線 上り:岩美駅行き

※(下り:小田行き)は
逆順となります。

小田、荒金

トスクいわみ店

●新井

●下坪井

すこやかセンター

●役場前

●岩美幹部派出所前

サンマート岩美店

●岩美幹部派出所前

●役場前

岩美駅



サンマート岩美店



トスクいわみ店

田後・陸上線 上り:岩美駅行き

※(下り:陸上行き)は
逆順となります。

陸上、田後

サンマート岩美店

●岩美幹部派出所前

●役場前

すこやかセンター

●下坪井

●新井

トスクいわみ店

●新井

●下坪井

岩美駅

新しい時刻表を同封しております。

問い合わせ先:企画財政課 ☎ 73-1412

2月7^日
～10^日

第21回

鳥取県岩美町・沖縄県国頭村 児童交流

～ 国頭村児童交流団 岩美町を訪問 ～



岩美町と国頭村は、昭和60年の「鳥取わかとり国体」、昭和62年の「沖縄海邦国体」で、双方が重量挙げの競技会場となったことをきっかけとして、昭和62年2月(昭和61年度)より交流を始めました。

この交流では、お互いに沖縄と鳥取を訪問し、子ども達の交流を深めるとともに、異なる気候風土や食文化・くらし・伝統を学び、知見を広めることにより、次の時代を担う子どもたちの育成を図っています。

今回は、2月7日(月)から10日(木)までの4日間、国頭村児童交流団21名が来町しました。

国頭村の子ども達は、10月に沖縄を訪問した本町の児童との再会を喜び合い、岩美北小学校での交流会、スキー交流など様々な事業を通して鳥取の文化・習慣などを肌で体験しました。

たくさん触れ合って
絆が深まりました。〰〰

岩美北小学校で交流会



役場表敬訪問



伝統芸能エイサーを披露



そりレースもしました



初めてのスキーにドキドキ



2月8日

山陰海岸ジオパークの グルメ発表会開催!!

岩美町商工会が鳥取市東商工会と連携して推進した、中小企業庁承認の地域資源全国展開事業プロジェクト事業を推進しています。その一環として、世界ジオパークにふさわしい山海の幸を活かした料理、岩美町といえどこれだと言える名物料理を作りたい熱き思いをこめて、地元旅館や食事処が新メニューの開発に取り組んでいました。

そして、2月8日(火)に岩美町中央公民館で開催した「山陰海岸ジオパークグルメ発表会」ではイカやハタハタを使った16品の新作料理が並び、参加者より好評を得ていました。

これを契機に岩美町の新たな観光振興の切り札になることが期待できそうです。



1月26日

第57回 文化財防火デー 〜瑞泉寺で消防訓練〜

第57回文化財防火デーのこの日、池谷の瑞泉寺で岩美消防署による消防訓練が行われました。

「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に法隆寺の金堂の壁画が火災により焼損したことなどから文化財保護法が制定されたのを契機に、昭和30年から全国的に実施されるようになったものです。

当日は、瑞泉寺で火災が発生したとの想定で、岩美消防署員が消火活動を行い、近隣の住民、岩美町消防団等も参加し、神社、仏閣等の貴重な文化財を保護するための意識啓発を行いました。



2月16日

軽消防自動車受納式

岩美町役場で軽消防自動車の受納式が行われました。

この軽消防自動車(小型動力ポンプ付)は、社団法人 日本損害保険協会が、地域の防災力向上を目的として昭和27年から実施している社会公共事業の一環として、このたび岩美町に寄贈するものです。

当日は、社団法人 日本損害保険協会 中国支部 斉藤事務局長から岩美町長に目録が贈呈され、岩美町長から岩美町消防団長への引き渡しが行われました。

町では、新しく岩美町消防団大岩分団第4部(平野)に配備することとし、地域の火災予防活動や火災発生時の機動的な消火活動のために活用していきます。



2月18日

岩美南小学校10周年記念 スプリングコンサート開催

岩美南小学校で鳥取大学フィルハーモニー管弦楽団をお招きし、スプリングコンサートが開催されました。

今年度開校10周年を迎えた岩美南小学校は、10周年記念式典等様々な取組をしてきました。そのような中、「さらに子ども達に文化的なこと、何か思いに残る取組をしてあげたい。」という保護者の思いから、今回実現された企画です。

当日は、「イナズマイレブン」や「AKB48 ドレミ」など、子ども達にお馴染みの曲が演奏され、児童らは大喜び。

また、管楽器・弦楽器などの説明や本物の音を間近で聞いたりして、すばらしい芸術体験をしました。

